

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり50.6人と前週からさらに増加し、依然**警報レベル**(定点当たり30人)超えの状態です。

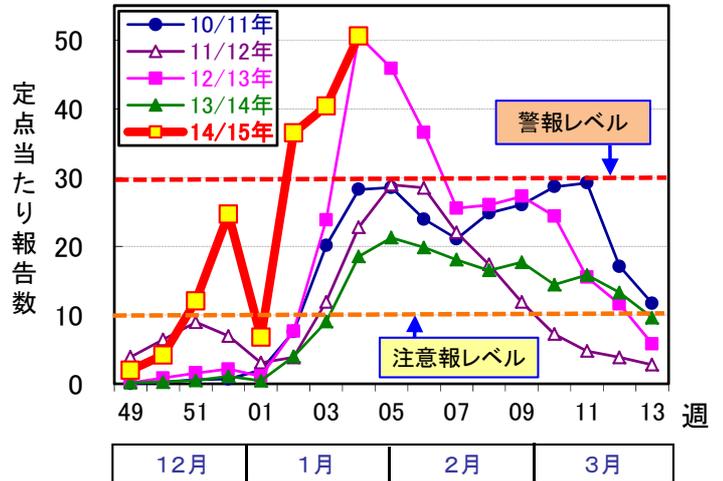
また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第4週は68件、第5週(1月26日～2月1日)はすでに24件の報告があり、これまでの累計は156件となりました。(速報値)

特に小学生など低年齢層で流行が急速に拡大しており、注意が必要です。(次頁参照)

なお、第4週の市内の基幹病院2か所(インフルエンザ定点ではない)による迅速診断キット検査結果では、A型陽性が584人、B型陽性が1人報告されています。

今後もしばらくは流行が続くと予測されますので、体調管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行、咳エチケット、適度な湿度(50～60%)の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取など、感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												↑	↓	
フィルン	インフルエンザ	1872	50.59	24.87	↗	小児科	流行性耳下腺炎	11	0.46	0.67	↓	↑	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減	
小児科	咽頭結膜熱	2	0.08	0.27	↗	眼科	RSウイルス感染症	2	0.08	0.53	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	2.96	1.24	↗		急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	↗	↘	ほとんど増減なし	
	感染性胃腸炎	252	10.50	11.36	↗	基幹	流行性角結膜炎	2	0.25	0.48	↗	↘		
	水痘	14	0.58	1.42	↗		細菌性髄膜炎	-	-	-	↗	↘		
	手足口病	7	0.29	0.15	↗		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	↗	↘		
	伝染性紅斑	-	-	0.25	↗		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	↗	↘		
	突発性発しん	9	0.38	0.53	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	↗	↘		
	百日咳	-	-	0.02	↗		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	↗	↘		
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02	↗									

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	8	男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、女性(80歳代)・2人
5	ウイルス性肝炎	1	1	男性(50歳代)・B型
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	2	女性(70歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告地	週次	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
			広島市	第52週	888	2	69	332	20	28	1	10	-	2	13	26	-	2	-	1	3	-
	第1週	252	1	10	67	7	1	-	2	-	-	7	8	-	3	-	2	-	-	-	-	-
	第2週	1,314	9	64	309	22	14	-	8	-	-	37	15	-	14	-	1	2	-	-	1	-
	第3週	1,496	3	57	240	8	4	-	13	-	-	22	9	-	6	-	-	-	-	-	-	-
	第4週	1,872	2	71	252	14	7	-	9	-	-	11	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第52週	24.67	0.09	3.00	14.43	0.87	1.22	0.04	0.43	-	0.09	0.57	1.13	-	0.25	-	0.14	0.43	-	-	-
	第1週	6.81	0.04	0.42	2.79	0.29	0.04	-	0.08	-	-	0.29	0.33	-	0.38	-	0.29	-	-	-	-	-
	第2週	36.50	0.39	2.78	13.43	0.96	0.61	-	0.35	-	-	1.61	0.65	-	1.75	-	0.14	0.29	-	-	0.14	-
	第3週	40.43	0.13	2.38	10.00	0.33	0.17	-	0.54	-	-	0.92	0.38	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-
	第4週	50.59	0.08	2.96	10.50	0.58	0.29	-	0.38	-	-	0.46	0.08	0.13	0.25	-	-	-	-	-	-	-
	全国	第2週	33.28	0.39	1.81	8.20	1.10	0.26	0.44	0.43	0.01	0.02	0.43	1.10	0.02	0.73	0.01	0.03	0.28	0.01	0.07	-
	第3週	37.00	0.23	1.84	7.39	0.52	0.23	0.43	0.42	0.01	0.02	0.26	0.69	0.01	0.46	0.02	0.03	0.27	-	0.14	-	

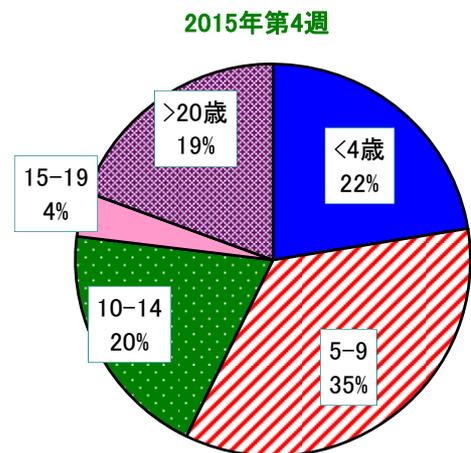
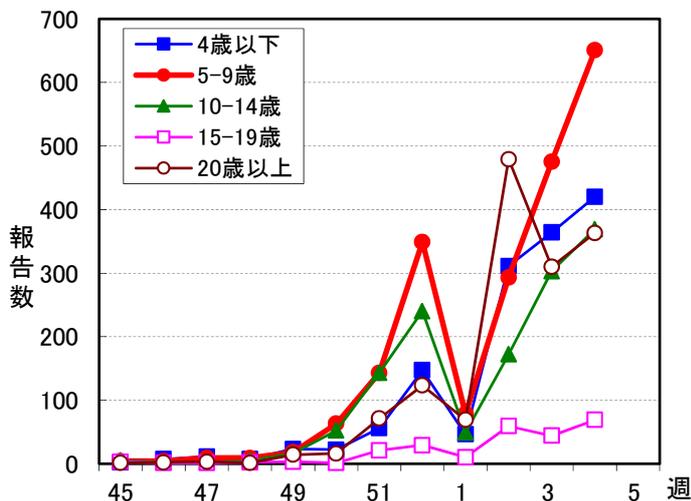
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0)	72	女	2005/01/04	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	49	男	2015/01/14	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	4	女	2015/01/14	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	8	女	2015/01/14	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	31	女	2015/01/14	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱 意識障害	6	女	2015/01/14	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
その他の疾患	発熱(39.0)	0	男	2014/12/11	糞便 鼻汁(拭い液)	Eコーウイルス11型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるインフルエンザの年齢階層別報告数の推移(インフルエンザ定点)



インフルエンザの年齢階層別報告数は、第3週から第4週にかけて、特に5～9歳の増加が目立っています。第4週の報告数は5～9歳が全体の35%を、14歳以下の割合が全体の77%を占めています。また、60歳以上の割合は3.6%となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2015年第4週(1月19日～1月25日)